

発達障害支援の標準的な研修プログラム に関するアンケート（2：事後調査）

2日間に渡る研修へのご参加、誠にありがとうございました。参加者のみなさまには、事後アンケート調査にもご協力いただきたく存じます。

このアンケートは、発達障害支援に携わる支援者への標準的な研修プログラムの開発に向け、福祉・教育・医療・就労等の各分野でアセスメントや支援に取り組まれる参加者を対象に、プログラム参加の事前・事後における発達障害児者のアセスメント・ツール、支援技法に関する知識の程度や、本プログラムに関する評価・感想を収集し、本プログラムの効果検証と今後の改善を目的としております。

本アンケートはあくまでも本プログラムに関して検証することを目的としたものであり、参加者のみなさまを評価するものではありません。アンケートでは本研究やアンケートへの同意を選択いただくことにより、自由意志でのご協力を確認いたします。得られた結果については個人情報を除いて集計し、専門領域・職種別、エリアごとなどで分類・比較して分析します。本研究の分析結果や知見は公共の利益に資するため報告書や学会誌等を通して発表することがありますが、個人のデータが公表されることはありません。

本アンケートにより得られた結果は、今後の発達障害児者支援に関する支援者研修の開発に役立ててまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、本事業による研修会に参加される方には、受講前にお答えいただいた事前調査との比較検証が必要となりますので、以下にお申込み時にいただいたメールアドレスをご記入ください。

ご記入されたメールアドレスは事前事後調査のデータを連結するためにのみ用い、本研究終了後に破棄することとし、情報の漏洩リスクを防いでまいります。

*必須

メールアドレス*

メールアドレス

<本研究へのご協力・同意> ・本研究へご参加いただく意思を確認するため、以下の「同意の有無」にご回答ください。 ・ご同意いただけなかった場合でも、何ら不利益を被ることはありません。 ・集計・解析や公開に当たって、個人が特定される情報はすべて削除され、数値のみの情報だけを用います。 ・ご不明な点やご質問は、調査責任者：中京大学・辻井研究室 (chukyo.tj.lab@gmail.com) までお問い合わせください。*

本研究への協力を同意します

同意しません

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 東邦学園(教職員) 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



発達障害支援の標準的な研修プログラム に関するアンケート（2：事後調査）

*必須

1) アセスメントツールに関するアンケート

以下のアセスメント・ツールについて、「0.聞いたことがない」から「4. 現在、使うことがある」まで、あなた自身に当てはまる回答を1つ選択してください。

1-1. WISC-IV 日本文化科学社 子ども用のウェクスラー式知能検査（5歳0ヶ月～16歳11ヶ月）*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-2. WAIS-IV 日本文化科学社 大人用のウェクスラー式知能検査（16歳0ヶ月～90歳11ヶ月）*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-3. 日本版K-ABCII（Kaufman Assessment Battery for Children）丸善出版
2歳6ヶ月～18歳11ヶ月の子どもの認知能力・基礎学力の測定*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-4. 田中ビネー知能検査V 田研出版 2歳～成人までを対象とした知能検査*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答



1-5. 新版K式発達検査 京都国際社会福祉センター 生後100日～成人まで対象。対象者の観察から、発達の全体像をとらえる検査*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-6. 日本語版M-CHAT 国立精神・神経医療センター 主養育者が記入、また面接等による、対象児のASD特性評価ツール*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-7. PARS@-TR親面接式自閉症スペクトラム症評価尺度 金子書房 対象児者の主養育者への半構造化面接による、ASD特性・支援ニーズ評価ツール*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-8. ADOS-2日本語版 (Autism Diagnostic Observation Schedule) 金子書房 半構造化された行動観察や面接から、対象児者のASD症状の評価を行うツール*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-9. ADHD-RS Dupaul, G. J. et al. (1998) 監修：市川宏伸・田中康雄 (2008) 養育者や教師が質問紙に回答し、対象児者のADHD特性を評価する質問紙*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答



1-10. Conners3®日本語版 金子書房 対象者の自己記入（8～18歳）、あるいは対象者（6～18歳）をよく知る保護者か教師が質問紙に回答することでADHDとその関連症状を評価する質問紙*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-11. CAARS日本語版（Conners' Adult ADHD Rating Scales） 金子書房 対象者の自己記入、あるいは対象者をよく知る観察者の評価により、成人（18歳以上）のADHD症状の重症度を評定する質問紙*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-12. CAADID（Conners' Adult ADHD Diagnostic Interview for DSM-IV） 金子書房 18歳以上を対象に、パートI：生活歴・生育歴等の記入とパートII：ADHD症状評価を用いて、ADHD診断を行うための半構造化面接ツール*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-13. CLASP（Check List of Obscure Disabilities in Preschoolers） 国立障害者リハビリテーションセンター 対象児をよく知る養育者か保育士・教諭等が回答することで、対象児の吃音、チック症、LD、DCDの傾向を評定する観察シート*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-14. STRAW-R改訂版標準読み書きスクリーニング検査 インテルナ出版 小学生から高校生を対象に、課題を通して読み書きを把握する検査*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答



1-15. JMAP/S-JMAP日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査 教育評価研究所
幼児を対象に前学業的問題のスクリーニングを行う検査 *

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-16. SP感覚プロファイル 日本文化科学社 保護者や支援者等が回答し、視
覚・聴覚などの感覚特性を測定する質問紙 *

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-17. CBCL 6-18 (Child Behavior Checklist) スペクトラム出版 養育者が回
答し、心理社会的な適応/不適応状態を包括的に評価する質問紙 *

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-18. SDQ (Strengths and Difficulties Questionnaire) Goodman, R. (1997)
親や教師による回答、または11歳以上は本人による回答により、対象児の情緒や
行動について評定する質問紙 *

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-19. DSRRS-C (パールソン児童用抑うつ性尺度) 三京房 小中学生本人が回
答し、抑うつ症状について評定する18項目の質問紙 *

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答



1-20. CES-D（うつ病(抑うつ状態)自己評価尺度） 千葉テストセンター 15歳
以上の本人が回答し、抑うつ症状について評定する20項目の質問紙*

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-21. SCAS（スペンス児童用不安尺度） 三京房 小3～中3の本人が回答し、
不安症状について評定する38項目の質問紙*

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-22. CMAS（児童用不安尺度） 三京房 小4～中3の本人が回答し、不安症状
について評定する53項目の質問紙*

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-23. Vineland-II適応行動尺度 日本文化科学社 対象児者をよく知る保護者や
支援者を対象に半構造化面接を行い、対象児者の日常生活における適応行動を評
定する尺度*

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答

1-24. TASP保育・指導要録のための発達評価シート スペクトラム出版社 対
象児をよく知る保育士・教諭等が質問紙に回答することで、対象児の園生活にお
ける適応行動を評定する他者評定尺度*

0. 聞いたこと
がない

1. 聞いたこと
はある

2. 内容を知っ
ている

3. これまでに
使ったことが
ある

4. 現在、使う
ことがある

回答



1-25. PNPS肯定的・否定的養育行動尺度 金子書房 主養育者が回答し、対象児に対する養育行動を包括的に評価する質問紙*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-26. スペース (SPACE : 遊び・社会性のアセスメント) Shire, S. Y. et al. (2018) 半構造化された短時間の遊びから、対象児の共同注意・要求行動・遊びの自発的なスキルを評価するツール*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

1-27. DSQ-IID (Dementia Screening Questionnaire for Individuals with Intellectual Disabilities) 国立のぞみの園研究紀要 第3号知的障害のある人のための認知症判別テスト*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

[戻る](#)

[次へ](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 東邦学園(教職員) 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



発達障害支援の標準的な研修プログラム に関するアンケート（2：事後調査）

*必須

2) 各種支援技法に関するアンケート

以下の支援技法について、「0.聞いたことがない」から「4. 現在、使うことがある」まで、あなた自身に当てはまる回答を1つ選択してください。

2-1. 構造化、視覚支援 発達障害（主に自閉スペクトラム症）の認知特定に合わせ、空間配置の工夫やスケジュールの提示、視覚的情報の活用など環境面の調整から適応を促す支援。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

2-2. 応用行動分析（ABA: Applied Behavior Analysis） 標的となる行動の背景にある要因を分析しコントロールすることで、対象者の問題を解決しようとする心理療法。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

2-3. 言語療法 音声機能や言語機能などに障害のある人を対象に、機能の維持・向上を図るための言語等の訓練を行う支援。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

2-4. ジャスパー（JASPER: Joint Attention, Symbolic Play, Engagement and Regulation） ASD児を対象に、遊びを通して対人関係における自発的な関わり合いの促進や遊びスキルの獲得などを目指す支援技法。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答



2-5. ESDM (Early Start Denver Model) 応用行動分析 (ABA) を基にした、2歳前から4歳までのASD児を対象に介入を行う超早期療育。遊びを通して、他者との関わりや生活での適応行動を獲得する。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-6. 環境調整 対象児者の適応行動を増やす、または不適応行動を減らすために、人や物などの環境要因を適切なもの・程度に変更・調整する。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-7. 感情理解・感情調整 支援対象者本人が、自分に沸き起こる感情への名前付けや心身の状態の気づきを促すとともに、呼吸法などのスキルや対処法を用いて感情を調整する技法。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-8. 感覚統合療法 身体運動を伴う活動により、姿勢調整能力や触覚識別能力、身体図式・運動企画力など、知覚と運動の統合を促す支援。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-9. SST (ソーシャル・スキル・トレーニング) 適切な対人関係のスキルを提示し、モデリングやリハーサル、フィードバックなどの手続きを経て教える方法。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答



2-10. フレンドシップ・プログラム 学校など日常生活をより楽しく過ごすための、友達との関わり方のポイントや注意点について、グループワークを通して学ぶように構成されたプログラム。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-11. ストレス・コーピング ストレスの源となるものごとの受け止め方を変えたり、ネガティブな考え方を柔軟で合理的な考え方に換えたりすることで、ストレスへの対処の仕方を向上させる支援。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-12. ソーシャル・サポート 支援対象者本人が自分で問題を解決したり課題に対処したりするだけでなく、家族や友人、専門家などの信頼できる他者に相談をしてサポートを求めることを促す支援。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-13. ライフログクリエイター 当事者と支援者がペアで登録し支援を行う無料アプリ。生活チェック機能による当事者の状態把握や、イベント機能による余暇での交流の促進に活用できる。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答

2-14. 自己理解 支援対象者本人が、発達障害特性だけでなく自分自身の得意・苦手を理解し、日常生活を円滑に送るために必要な対処行動や援助要請につなげることを促す支援。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使っていることがある

回答



2-15. ピアーズ (PEERS: Program for the Education and Enrichment of Relational Skills) ASDやADHDなど友人関係で課題を抱えている思春期・青年期の子どもを対象に、友だち作りや上手な付き合い方を実践的に学ぶプログラム。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

2-16. 自閉スペクトラム症専門ショートケアプログラム 精神科医療機関における自閉スペクトラム症を対象としたショートケアプログラム*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

2-17 ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) 世界保健機関 (WHO) 総会において採択された、生活機能・障害・健康の国際分類*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

2-18. ペアレント・プログラム (ペアプロ) 発達障害特性の有無に関わらず、養育者が認知行動療法を基にした子どもの行動からの理解と肯定的な関わり方についてグループ・ワークを通して学び、子どもをほめることや具体的な行動で伝えるスキルの獲得を目指すプログラム。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答

2-19. ペアレント・トレーニング (ペアトレ) 発達障害児への関わり方について、養育者が行動療法を基にした技法を学び実践することで、日常生活における子どもの適応行動の促進と不適応行動の改善を目指すプログラム。*

0. 聞いたことがない 1. 聞いたことはある 2. 内容を知っている 3. これまでに使ったことがある 4. 現在、使うことがある

回答



2-20. ペアレント・メンターの活用 一定のトレーニングを受け心理的サポートスキルを身に着けた発達障害児を育てた養育者（メンター）が、現在子育てで困っている養育者に共感的な支援や地域資源等についての情報提供を行うことで支え合う活動。*

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|
| 0. 聞いたことがない | 1. 聞いたことはある | 2. 内容を知っている | 3. これまでに使ったことがある | 4. 現在、使っていることがある |
|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|

回答

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 東邦学園(教職員) 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



発達障害支援の標準的な研修プログラム に関するアンケート（2：事後調査）

*必須

3) ライフステージにおける課題・支援と支援体制の理解

以下の内容について、「0.よくわからない」から「4. 具体的な内容を把握している」まで、あなた自身に当てはまる回答を1つ選択してください。

3-1. 幼児期における医療・福祉との連携・支援 乳幼児健診による早期把握、医療機関における早期診断、福祉機関における療育 など*

- | | 0. よくわからない | 1. 具体的な内容は知らない | 2. 具体的な内容を知っている | 3. 具体的な内容とその重要性を知っている | 4. 具体的な内容とその重要性を説明できる |
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|

回答

3-2. 就学移行における把握 小学校入学前の、就学時健診や5歳児発達健診における把握*

- | | 0. よくわからない | 1. 具体的な内容は知らない | 2. 具体的な内容を知っている | 3. 具体的な内容とその重要性を知っている | 4. 具体的な内容とその重要性を説明できる |
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|

回答

3-3. 特別支援教育に関する理解 特別支援学校や特別支援学級、通級指導、個別の支援計画と個別の教育支援計画 など*

- | | 0. よくわからない | 1. 具体的な内容は知らない | 2. 具体的な内容を知っている | 3. 具体的な内容とその重要性を知っている | 4. 具体的な内容とその重要性を説明できる |
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|

回答

3-4. 学校における学習支援 読み・書き・計算・空間把握などの学習に関する実態把握と支援*

- | | 0. よくわからない | 1. 具体的な内容は知らない | 2. 具体的な内容を知っている | 3. 具体的な内容とその重要性を知っている | 4. 具体的な内容とその重要性を説明できる |
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|
|--|------------|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|

回答



3-5. 青年期以降におけるメンタルヘルス上の問題の理解、医療との連携 不安
や抑うつ、強迫症状等の精神疾患の理解と医療機関との連携 など*

- | | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 0. よく分から ない | 1. 具体的な内 容は知らない | 2. 具体的な内 容を知ってい る | 3. 具体的な内 容とその重要 性を知ってい る | 4. 具体的な内 容とその重要 性を説明でき る |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

回答

3-6. 生活支援 社会生活の自立に必要な衣食住に関わる様々なスキルを、日常
生活での実践を目指して身につける支援*

- | | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 0. よく分から ない | 1. 具体的な内 容は知らない | 2. 具体的な内 容を知ってい る | 3. 具体的な内 容とその重要 性を知ってい る | 4. 具体的な内 容とその重要 性を説明でき る |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

回答

3-7. 就労支援 就職や安定した就労の継続に向けて行われる、対象者の自己理
解促進や就労スキルの獲得などを目的とした支援*

- | | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 0. よく分から ない | 1. 具体的な内 容は知らない | 2. 具体的な内 容を知ってい る | 3. 具体的な内 容とその重要 性を知ってい る | 4. 具体的な内 容とその重要 性を説明でき る |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

回答

3-8. 余暇支援 充実した社会生活や心身の健康の維持に重要な、心身の休息や
リフレッシュ、私生活の充実につながる、休日の過ごし方などの余暇活動の支援
*

- | | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 0. よく分から ない | 1. 具体的な内 容は知らない | 2. 具体的な内 容を知ってい る | 3. 具体的な内 容とその重要 性を知ってい る | 4. 具体的な内 容とその重要 性を説明でき る |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

回答

3-9. 地域における医療・福祉・教育等の多機関・多職種連携 各地域における
医療・福祉・教育機関や職種の役割の理解と連携の仕方 など*

- | | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 0. よく分から ない | 1. 具体的な内 容は知らない | 2. 具体的な内 容を知ってい る | 3. 具体的な内 容とその重要 性を知ってい る | 4. 具体的な内 容とその重要 性を説明でき る |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

回答



3-10. 国における発達障害施策の理解 発達障害者支援法などに規定される、
発達障害者支援に関する国の主な施策の理解 *

- | | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 0. よく分から ない | 1. 具体的な内 容は知らない | 2. 具体的な内 容を知ってい る | 3. 具体的な内 容とその重要 性を知ってい る | 4. 具体的な内 容とその重要 性を説明でき る |
|----------------|--------------------|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

| | | | | | |
|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 回答 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|

戻る

次へ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 東邦学園(教職員) 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



発達障害支援の標準的な研修プログラム に関するアンケート（2：事後調査）

*必須

4) 本研修の評価

本研修は、発達障害者支援センターや教育センター等における職員研修に活用するため、発達障害に関して有用性が確認されたアセスメント・ツールや支援技法の概要を紹介し、幼児期から成人期までの生涯にわたる支援を包括的にまとめた内容として構成されました。

4-1. 本研修プログラムの評価・感想 本プログラムに関して、あなたが感じる評価について、各項目の回答における1～5で最も近い表現1つを選択してください。*

1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらでもない 4. ややあてはまる 5. あてはまる

研修内容は、
充実したもので
あった。

研修内容は、
分かりやすか
った。

また、本研修の「プログラム内容」に関する感想がありましたら以下の欄にご記入ください（自由記述）。

回答を入力

4-2. 地域支援での活用可能性の評価・感想 本プログラムの内容について、今後の地域支援における活用役に役立つものであったか、あなたが感じる評価を各項目の回答における1～5で最も近い表現1つを選択してください。*

1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらでもない 4. ややあてはまる 5. あてはまる

研修内容は、
今後取り組む
地域支援に活
用できる内容
であった。

研修を受けた
ことで、支援
の具体的な実
践をイメージ
することがで
きた。



また、本研修の「地域支援における活用」に関する感想がありましたら以下の欄にご記入ください（自由記述）。

回答を入力

4-3. あなたが本プログラムの講師を務めるとした場合のサポートについて「あなた自身が、新任・若手職員を対象に講師として本プログラムの内容を実施」するとしたら、どのような資料やサポートがあれば可能だと思いますか？項目1～4で当てはまるもの全てにチェックを付けてください。*

- 1. 研修で提示されたスライドと読み上げ用原稿が使える
- 2. 専門家講師のオリジナル動画を見ることができる
- 3. スライド内容に関する解説資料が参照できる
- 4. 研修実施前に、講師担当者向けの研修指導が受けられる
- その他: _____

4-3（自由記述）. あなたが本プログラムの講師を務めるとした場合の資料・サポート 上記の質問4-3について、「あなた自身が、新任・若手職員を対象に講師として本プログラムの内容を実施することを前提」とした場合、どのような資料やサポートがあれば可能だと思うかを、文章でお答えください。 チェックボックスでの回答と重複していても構いません。*

回答を入力

4-4. 発達障害支援における課題・ニーズ その他、所属される機関で取り組まれている発達障害支援において、どのような課題やニーズを持っておられるか、以下の欄に自由にご記入ください（自由記述）。

回答を入力

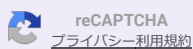
研修受講後の事後調査は以上となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

回答のコピーを自分宛に送信する

戻る

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



このフォームは 東邦学園(教職員) 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム

